

(特養)ローゼンワイル藤原 ヌット型拠点区分貸借対照表

平成29年 3月31日現在

第三号第四様式 (第七条関係)

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	56,504,150	44,363,253	12,140,897	流 動 負 債	204,451,341	194,884,635	9,566,706
現 金 預 金	10,053,452	-5,235,441	15,288,893	短 期 運 営 借 入 金	140,000,000	130,000,000	10,000,000
現 金	80,497	-1,009,780	1,090,277	事 業 未 払 金	9,270,300	6,722,352	2,547,948
預 金	9,972,955	-4,225,661	14,198,616	事 業 未 払 金	9,270,300	6,722,352	2,547,948
事 業 未 収 金	44,251,358	48,062,369	-3,811,011	そ の 他 の 未 払 金	1,391,413	0	1,391,413
介護保険事業未収金	44,251,358	48,062,369	-3,811,011	1年以内返済予定設備資金借入金	45,238,000	45,238,000	0
未 収 金	129,092	140,560	-11,468	預 り 金	69,179	4,322,336	-4,253,157
未 収 補 助 金	1,370,353	550,000	820,353	職 員 預 り 金	1,909,366	2,019,923	-110,557
立 替 金	218,145	195,950	22,195	賞 与 引 当 金	6,573,083	6,582,024	-8,941
前 払 費 用	400,324	405,537	-5,213	固 定 負 債	471,963,640	516,581,390	-44,617,750
1年以内償却予定長期前払費用	81,426	244,278	-162,852	設 備 資 金 借 入 金	452,544,000	497,782,000	-45,238,000
固 定 資 産	663,792,685	702,849,057	-39,056,372	退 職 給 付 引 当 金	19,419,640	18,799,390	620,250
基 本 財 産	625,484,413	662,148,874	-36,664,461	負 債 の 部 合 計	676,414,981	711,466,025	-35,051,044
土 地	61,824,867	61,824,867	0				
建 物	893,719,669	893,539,669	180,000	純 資 産 の 部			
建物減価償却累計額△	330,060,123	293,215,662	36,844,461	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	135,715,272	144,557,377	-8,842,105
そ の 他 の 固 定 資 産	38,308,272	40,700,183	-2,391,911	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	135,715,272	144,557,377	-8,842,105
構 築 物	69,130,331	69,130,331	0	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	-91,833,418	-111,519,736	19,686,318
構築物減価償却累計額△	57,349,191	50,917,506	6,431,685	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (うち当期活動増減差額)	-91,833,418	-111,519,736	19,686,318
器 具 及 び 備 品	40,302,081	35,651,369	4,650,712		19,686,318	7,420,358	12,265,960
器具及び備品減価償却累計額△	33,274,589	32,124,827	1,149,762				
退 職 給 付 引 当 資 産	19,419,640	18,799,390	620,250				
差 入 保 証 金	80,000	80,000	0				
長 期 前 払 費 用	0	81,426	-81,426	純 資 産 の 部 合 計	43,881,854	33,037,641	10,844,213
資 産 の 部 合 計	720,296,835	747,212,310	-26,915,475	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	720,296,835	744,503,666	-24,206,831

計算書類に対する注記

(特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

①建物並びに器具及び備品一定額法

②上記以外の有形固定資産一定額法

③無形固定資産—該当なし

④リース資産—該当なし

(4) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

ア 職員の退職給付に備えるため、当法人で加入している公益社団法人千葉県社会福祉事業共助会の退職共済制度に基づき、当期末における法人負担の掛金累計額を計上している。

イ 職員の退職給付に備えるため、当法人が定める退職給付制度に基づき、当期末において発生していると認められる金額を退職給付債務として計上している。なお、退職給付債務は期末要支給額により算定している。

②賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に属する金額を計上している。

2. 採用する退職給付制度

当法人で採用する退職給付制度は以下のとおりである。

(1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度

職員の退職給付に備えるため、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

なお、本制度の対象となる職員は、平成18年3月31日までに当法人に採用となった者とする。ただし、以下の職員は本制度の対象とする。

①当法人の保育部所管の施設に採用となった者で、引き続き同事業部所管の施設に勤務している者

②平成28年3月31日までに当法人の障害事業部所管の施設及び事業所に採用となった者で、引き続き同事業部所管の施設及び事業所に勤務している者

(2) 民間退職共済制度

職員の退職給付に備えるため、公益社団法人千葉県社会福祉事業共助会の実施する退職共済制度に加入している。

なお、本制度の対象となる職員は、(1)又は(3)の退職給付制度の対象となる者とする。

(3) 当法人が定める退職給付制度

職員の退職給付に備えるため、当法人の規程に基づき、法人独自の退職給付制度を実施している。

なお、(1)の退職給付制度の対象となる職員以外を本制度の対象とする。

3. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型拠点計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(11))
当拠点区分はサービス区分が1つのため省略している。
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(10))
当拠点区分はサービス区分が1つのため省略している。

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	61,824,867	0	0	61,824,867
建物	600,324,007	180,000	36,844,461	563,659,546
合 計	662,148,874	180,000	36,844,461	625,484,413

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

6. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地(基本財産)	61,824,867円
建物(基本財産)	563,659,546円
事業未収金(譲渡担保)	37,131,740円
計	662,616,153円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	497,782,000円
短期運営資金借入金	
(特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型拠点)	140,000,000円
(船橋市法典地域包括支援センター拠点)	10,000,000円
(サービス付き高齢者向け住宅ローゼンホーム仁戸名拠点)	60,000,000円
(サービス付き高齢者向け住宅ローゼンホーム上山拠点)	40,000,000円
計	747,782,000円

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。
該当なし

8. 重要な後発事象

該当なし

9. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ①当年度から、「特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原」拠点区分のうち、「特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原(参番館)」サービス区分を独立した「特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型」拠点区分として設けることとした。なお、資産等の移管は、期首において分割した金額を直接拠点に計上している。
- ②特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型において、施設整備に伴う設備資金借入金1,400,000円が次年度の入金となるため、当年度の資金収支計算では、この設備資金借入金相当額がマイナスとなっているが、次年度に繰り越されて収入が計上されることから、資金計画に基づく収支バランスは確保されるものである。

設備資金借入金の内訳

特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原ユニット型 1,400,000円